

ちよつと小耳に



みすゞさんの心を表現したい

つだもえこ 津田萌子さん

「みすゞさんの宇宙を深く感じて、表現し続けたい」と話すのは、画家を目指して勉強中の津田萌子さん。  
幼い頃から絵を描くのが好きだったという津田さんは、広報みすゞギャラリーでお馴染みのイラストレーター尾崎眞吾さんとの出会いをきっかけに、本格的に鉛筆画に取り組みようになったのだとか。  
3月1日から15日に市立図書館で開催された自身初となる個展「みすゞさんの宇宙」では、金子みすゞの詩を題材にした鉛筆画15点を展示。多くの来場者を迎え、好評を博しました。



「人の気持ちを幸せにすることが出来る力をもつてほしい」と、いろいろ感想をもらったことがうれしかったと津田さん。「見えないものも描けるような画家になりたいです」と、今後の抱負を語ってくださいました。

※仕事は 大坊ダムの管理と道路や河川の擁壁の設計をしています  
※動機は 生まれ育った山口県が好きで、山口の人の役に立つ仕事がしたいと思いました  
※心がけていることは ダムにおいては付近に住んでいる人の安全が第一です。貯水率などダムの安全管理に常に注意しています  
※趣味は 体を動かすことが好きで、野球やゴルフをしたり、冬場はスノーボードをしています  
※好きなタイプは 自分に持っていないものを持っている人魅力を感じますね  
※結婚は 子供が好きなので家庭を持ちたいとは思いますが、まだ具体的には…  
※自由な一言 知識と経験を積み重ね、早く一人前になって地域に貢献できる職員になりたいと思います



熱血!新鮮力

山口県の役に立ちたい



あきもと たかし 秋本貴史さん  
山口県長門土木建築事務所  
ダム管理課 勤務

連絡帳 通 小学校



きじま みのり 木嶋穂さん  
通小学校6年

ふるさと通のよさを知ろう

私達は総合的な学習で、「通のよさをもっと知りたい。」とこの活動でいろいろ調べたりチャレンジしたりすることにしました。  
まず、くじら資料館に見学に行つて、鯨墓のことを教えてもらいました。お墓が海の方に向いているのは、赤ちゃん鯨がまだ海を見たことがないので見えるようにしてあげたということなんです。通の人は、とつても優しかったんです。  
夏には、トコロテン作りにチャレンジしました。テングサを洗って干して、洗って干してのくり返しで、本当にできるのだからかと思つていました。でも11月になって、いよいよ煮る時がきました。友達のおばあちゃん2人が先生です。布でこして

フルーツ入りやコーヒー牛乳味のトコロテンができました。とてもおいしかったです。  
冬には、アジの開きとイカのすめ干しを三会の人達に教えてもらいました。アジの開き方は3通りやりました。イカはすみ顔についた足がはずれそうになったりして大変でした。でも何とか無事にできそうでした。通のすばらしさをいっぱい発見できた1年間でした。



アジの開き作りの様子

私の出身は岡山県です。父の仕事の関係で中学1年から2年間、太平洋のサモアという国に住んでいました。サモアはきれいな海に囲まれた島ですが、近年漁獲量が減っており、魚の養殖も行われていません。  
そこで私は、将来、サモアのような国で養殖に携わりたいと考えるようになりました。日本の中学に戻ってから、先生に相談したところ、山口県立水産高等学校の海洋科学科・資源管理コースを薦めて頂き、自分の将来の夢に近づける学校だと思い入学しました。  
入学してすぐに、水産科学部に入部しました。水産科学部は水産・海洋系高校の生徒研究発表会に毎年出場しているクラブです。今年は一山

山口県立水産高等学校の海洋科学科・資源管理コースを薦めて頂き、自分の将来の夢に近づける学校だと思い入学しました。  
入学してすぐに、水産科学部に入部しました。水産科学部は水産・海洋系高校の生徒研究発表会に毎年出場しているクラブです。今年は一山  
研究発表の様子



研究発表の様子

水産高等学校 連絡帳

夢は養殖の達人



おおい りょうた 大井遼太さん  
水産高等学校2年